

2026

# Jonah

 TOC-ICO 認定コース  
ジョナ登録 戦略的思考プロセス

## ごあいさつ

弊社では創業以来、エリヤフ・M・ゴールドラット博士が開発したTOC(制約条件の理論)を基に、多くの日本企業の変革をお手伝いしてまいりました。「組織」と「人」と「しくみ」を中心とした企業システムの改善や革新をテーマに、お客様企業にとってのトータルでの問題・課題解決方法を提供することを目指し、コンサルティングや教育を実践しております。

「ジョナ」とは、小説「ザ・ゴール」に登場するコンサルタントの名前であり、改革を導くイニシエータを指しますが、弊社のジョナトレーニングは小説の中だけではなく、現実の世界を変革してゆく実践者を「ジョナ」として教育しているのです。弊社ジョナコースは、これまでに約400名以上のジョナを輩出し、TOCの中核組織であるTOC-ICO(国際認証機構)に登録してまいりました。

また、弊社ではTOC思考プロセス手法を実際のコンサルティングの現場でツールとして活用しており、その実践の中での気づきをトレーニング内容に反映させています。人が介在する組織の中での変革をどのように起こしてゆくべきかを、行動経済学など最新の経営理論との整合性を検証しながら改定し、コース内容を常にアップデートしております。



貴社におかれましても、この機会にぜひ、「ジョナ」育成をご検討くださいますようお願い申し上げます。

2025年10月  
ゴール・システム・コンサルティング株式会社  
代表取締役 村上 悟

## ジョナコース

ゴールドラット博士は、永続的な改善プロセスを作り上げてゆくためには、思考プロセスを理解し、使いこなす「ジョナ」の存在が不可欠だと述べています。弊社のジョナコースでは、TOC思考プロセスの技術体系にきわめて忠実に、正確な論理、手順を提示することによって、組織を革新するTOCアプリケーターを育成します。

## トレーニング

- 各受講者の進捗に合わせたトレーニングを行います。
- 自身の抱えている問題に対してTOC思考プロセスを用いながら、自身の頭で解決策を創り出す実践的なワークショップを行います。
- 約200ページの詳細なコースマニュアルが付属しています。



## 付与資格

■ TOC思考プロセスプロフェッショナルとしての「ジョナ」の資格を付与します。  
付与されるジョナ資格は、TOC-ICO(国際認証機構)の認定TOCプラクティショナーである弊社代表村上が認定し、TOC-ICOにジョナ認定を登録する事で、登録証が発行されます。



日時

2026年  
 1月：20日(火) 27日(火)  
 2月：3日(火) 10日(火) 17日(火) 24日(火)  
 3月：3日(火) 10日(火)

※合計8日間 / 全日 WEB 開催  
 / 各日 9:30~17:30

2026年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※日程が合わず受講できない日がある場合は、個別レクチャーや振替受講など、Jonah取得までフォローいたします。  
 お気軽にご相談ください。

参加費用

**通常価格 715,000円** [税込] (ジョナ登録料含む)  
**早期割引 550,000円** [税込] **12月19日(金) までのお申込みで適用**  
**グループ割** グループで受講し、1つのテーマを扱う場合、**2人目以降は半額**

※お申し込み後…  
 ・個人様宛てご請求の場合 ⇒ 請求書到着後 < 1週間以内 > にお振込み下さい。  
 ・法人様宛てご請求の場合 ⇒ 請求書到着後 < 1ヶ月以内 > にお振込み下さい。  
 (お支払時期のご希望がごありの場合は、別途ご相談下さい。)

※お客様のご都合により研修をお申し込み後にキャンセルする場合には、開催一か月前からキャンセル料を申し受けます。

参加資格

特にはありませんが、エリヤフ・M・ゴールドラット著  
 「ザ・ゴール」 (ダイヤモンド社 ISBN : 978-4-478-42041-6 1,760円)  
 「ザ・ゴール2」 (ダイヤモンド社 ISBN : 978-4-478-42040-9 1,760円)  
 は、読了されることをお奨めします。



講師



ゴールシステムコンサルティング  
 代表取締役  
 村上 悟

大手製造業にて経理、原価計算を担当、社団法人日本能率協会を経て株式会社日本能率協会マネジメントセンター TOC 推進部チーフコンサルタント。  
 2002年9月より現職。2006年にインターナショナル・プロダクション・リサーチジャーナルに発表された論文「日本産業における TOC の適用 - 日立ツールの事例 -」は、同年の TOC 世界大会でE・ゴールドラット博士より紹介され、博士最後の論文「巨人の肩の上に乗って (2008)」に直接引用された。  
 世界でもトップクラスの実績と実力を持つ TOC コンサルタント。



チーフ・カスタマーサクセス・オフィサー (CCSO)  
 渡辺 薫

90年代デジタルマーケティングの黎明期にはエバンジェリスト&コンサルタントとして活動。  
 2010年日立製作所に入社。超上流工程のコンサルティング手法の開発と指導、日立グループ内でのTOCの活用に尽力。  
 2018年からは社会イノベーション事業推進本部エグゼクティブ SIB ストラテジストとして、デジタルトランスフォーメーションの戦略策定・実行のサポートと人材育成に注力し、2021年3月に退任。  
 2021年7月ゴールシステムコンサルティング チーフ・カスタマーサクセス・オフィサー (CCSO) 就任。



コンサルタント  
 但田 真紀

通信サービス業・農業・流通業などの業種にて、現場作業・広報企画・店長職などに従事。  
 2007年中小企業診断士試験合格。商工会議所にて中小企業の経営支援に従事した後、人材事業会社に転職。  
 TOC シンポジウムにて人材育成への TOC 活用事例を発表し、高い評価を得たことを契機に、2016年ゴールシステムコンサルティングに入社。  
 多様な業種・職種を経験するなかで身に着けた、わかりやすい伝え方とドキュメンテーション力、成果につながる伴走型支援には定評がある。



コンサルタント  
 戸田 悠斗

2019年香川大学工学部卒業、同年 NTN (株) に入社。製造部門でニードルベアリングの品質管理を担当し、不具合発生時の初期対応、原因調査・分析、再発防止策の検討・実施を行う。その後、生産技術部で熱処理工程を担当し、品質改善、設備保全、量産立上げ対応を経験。  
 2022年ゴールシステムコンサルティングに入社。新製品開発を中心に、CCPM 導入支援業務等に従事。

## あなたの組織には問題があり、またそれを解決しようと考えていますか？

今日、組織に横たわっている問題は、非常に複雑で理解しがたいものであったり、多くの抵抗があったりと、なかなか解決できないものです。もしそれらが容易に解決できるならば、とっくに解決されているはずで  
す。そうなる問題の多くは、結局慢性化してしまうのです。

実際のところ、これらの慢性化した問題はさまざまな症状を引き起こしますが、一つ一つの症状を引き起  
こしている真の原因（中核問題）が本当の意味での問題なのです。通常この中核問題は良く理解されてい  
なかつたり、きちんと表現されていない間違っただ仮定によって引き起こされるものです。

我々は中核問題をつきとめ、解決し、様々な症状を改善することができるのでしょうか？

TOC思考プロセスはTOC (Theory of Constraints) のアプリケーションの一つですが、好ましくない  
症状（問題）を残らず引き出し、目に見えない「組織の中核問題」を解決するために開発されました。

## 弊社のジョナコースは、組織の問題解決と改革を実現する人材育成を同時に実現できるように設計されています。

受講者には、今まで上手く解決できなかった現実の問題を題材として取り上げていただき、TOC思考プ  
ロセスの手順や考え方を確実に理解、習得していただきながら、問題を解決するための実行可能なステッ  
プを実際に作り上げていただきます。これによって、組織に横たわる慢性問題の解決策を構築し、実行に  
結びつけることのできる中核的な人材を育成する事が可能になるのです。

### 問題解決を妨げる障害は6つの多層構造

1	<i>We don't agree on the problem being addressed.</i> 問題の存在に同意しない
2	<i>We don't agree on the direction of the solution.</i> 解決の方向性に同意しない
3	<i>We don't agree the solution solves the problem.</i> 問題を解決する解決策に同意しない
4	<i>We see that the solution, if implemented, causes negative effects.</i> 解決策は見えるが、もし実施したらネガティブな効果がある
5	<i>We see obstacles blocking a realistic implementation of the proposed solution.</i> 現実的な実施をはばむ障害が提案された解決策に見える
6	<i>Fear of the unknown</i> 知らない事に対する恐れ

この6つは上から1つ1つ突破しなければならない障害であり、その障害を克服しなければ問題解決はできません。

問題を解決するプロセスでは、様々な環境の中にある多くの問題を識別し…

- どんな中核的なジレンマや対立が存在し、これらの問題は相互にどう関連しているのか
- 中核的なジレンマや対立を引き起こす、誤った仮定(思いこみ)や前提条件は何か

これらを明確にすることで、どの仮定や前提条件を無効にすれば良いかという、改革の方向性を明確にすることができます。そして、ウィンウィンの解決策を徹底的に考える事で、組織や人間関係の「対立」や「二律背反」は容易に解けるものであることが実感できます。これによって安易な妥協に流される事のない問題解決の方向性と具体的な方法論を我々に与えてくれます。

解決の方向性が見えてくれば次に…

- 現状は、組織の中で問題が相互に関連しながら悪循環を引き起こしている
- これらの症状は中核問題の存在によって何度も何度も繰り返し発生しているため、非常に回復力に富んでいるということ

これらを理解することで、我々が変化するためのカギを構築することができ、ソリューションを計画することができます。しかし、解決したい「人間が絡む中核問題」は極めてやっかいなもので、パワフルでポジティブな変化を起こしている時でさえも、解決策が意図しない方向に逸脱したり、実行不能になるほどの抵抗を引き起こしてしまうことがあります。

したがって我々は組織の中で…

- これらの変化が生み出す潜在的なマイナスの影響を確認すること
- 人間がどのようにネガティブになるか理解すること

これらの点に注意し、人を巻き込んで解決策を磨き上げ、マイナスの結果を刈り取る必要があります。

解決策を作り上げ、様々なマイナスの影響も完全に刈り取ることができるという自信を得たら、次は解決策を実行する行動を決定します。

- どんな障害が実行の邪魔をするのかを定義します
- 障害を克服するための必要条件を決定します
- 変化を現実のものとする、障害を克服するための順番を決定します
- 変化を現実のものとする具体的な行動を定義します

こうして明らかになった変化のステップを、具体的なプロジェクトプランに変えてゆきます。このとき実際の解決行動では、人間の抱える「きまぐれ(認知バイアス)」に対処する必要があります。TOC思考プロセスでは、これに「変化に抵抗する6つのレイヤー」という対処法を提示しています。

# コース概要

1	プログラムの目的	・ 制約理論の適用
2	継続的改善 (POOGI) とは	・ TOC 思考プロセス概論 ・ 我々が答えなければならない3つの質問と変化への抵抗
3	あなた自身の問題を選択し、記述する	・ あなたの抱えている問題は何か、また具体的な症状は何があるか ・ 3つの症状 (UDE : Un Desirable Effects) を具体的に把握
4	症状の背景にある対立の構図を明らかにする	・ 3つの症状の抱える本質的な対立は何か、そのクラウドを作成 ・ そのクラウドの正確性を確かめる
5	クラウドの背後にある仮定や思いこみを明らかにする	・ なぜこの対立が起きているのか、方針・評価指標や日常の行動は？
6	本質的な対立をベースに 現状ツリー (CRT : Current Reality Tree) を作成する	・ 本質的な対立が全ての症状を引き起こしていることを検証 ・ 論理性の検証 (CLR) を使いながら現状ツリーを確認
7	対立の解消を考える	・ 対立の背景にある仮定や思いこみを洗い出し、検証し、解決策を考える
8	解決策の効果を 未来ツリー (FRT : Future Reality Tree) で検証する	・ 解決策を実施するとどんな好ましい結果が起きるか ・ 解決策の実施によるマイナスの影響 (Negative Branch) を刈り取る
9	前提条件ツリー (PRT : PreRequisite Tree) で 解決策の実行手順を作る	・ 解決策の実行上の障害は何か、その障害をどう克服するか ・ どんな手順で解決策の実行をするのか
10	解決策実行に向けて 移行ツリー (TrT : Transition Tree) で具体化する	・ 今から実行すべきことは何か、その具体的なスケジュールプランは何か
11	思考プロセスを日常的に活用するときの留意点	

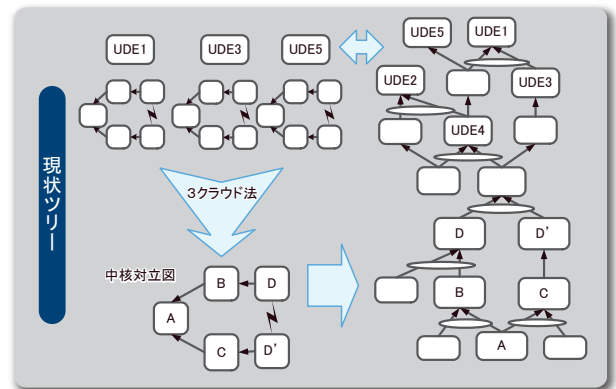
## 資料：3クラウド・メソッド

「ザ・ゴール2 (It's not luck)」に描かれた思考プロセスは、現状構造ツリーは5から10のUDE (好ましくない事実) をリストアップし、それらの因果関係を手がかりにエンティティー (事実) を追加して、大部分のUDEの原因と考えられる中核問題を発見するという手順が説明されています。

しかし、ジョナコースでは中核問題を発見する方法として3クラウド・メソッドが採用されています。思考プロセスの進化の過程から生まれた3クラウド・メソッドは、リストアップしたUDEの中からできるだけ内容の異なる3つのUDEを選び出し、それぞれのUDEごとにクラウド(雲)を作成します。

こうすると、3つのクラウドの間には必ず類似性がみられ、クラウドの各エンティティーの内容を包含するように1つのエンティティーにまとめる事が出来ます。これをクラウドのアップグレードと呼びます。

こうして作成されたコアクラウドが中核対立図であり、中核問題を示すのです。さらに導き出された中核問題から因果関係をつけてUDEに繋げ、中核問題が大部分のUDEの原因となっていることを確認します。このやり方だと誰でも早く確実に中核問題にたどり着くことが出来ます。3クラウド・メソッドは思考プロセスを早く確実に実行する強力なツールなのです。



# 受講者の声

## 大満足の内容

株式会社コパイロット

定金 基 さん 【2020 夏季コース】

非常に勉強になり、内容については全くもって大満足。いま自社でメソッドを開発しているのだが、今回のジョナコースを通して、車輪を再発明していることがあるかもしれないな、と考えられた。

改めて TOC を学ぶとともに他のメソッドを学ぶことも推進したい。また、原理を理解することで、部分的にでも使える武器を非常に多く得られたと感じた。

## 自分自身で最後まで行きつくことは不可能だった

株式会社コパイロット

八木 翔太郎 さん 【2020 夏季コース】

自身のテーマなので、そもそも客観視が難しいものもありますが、ここまで抽象的な問題をコアクラウドまで落とし、原因究明し、問題構造と将来の姿、さらにはステップまで細かくシステムティックに描けることに驚きました。とはいえ、エンティティの書き方1つ1つがまるで国語の問題のように繊細だったので、自分自身で最後まで行きつくことは不可能だったと感じます。折々でマンツーマンのご教示をいただきまして誠に有難うございました。

## 常に身近にクラウドがある

株式会社メディアテック

堀田 淳一さん 【2020 春季コース】

これまで受講した講習の中で一番長期にわたる内容でした。仕事を続けていくうちは決して忘れない経験になると思います。

クラウドマラソンは昼夜・休日に関わらず、常に身近にクラウドがある存在でした。是非、次に続くメンバーも体験してほしいと思います。

## 8日間、脳に汗をかきながら考え抜く

株式会社マリックス

小崎 遼太郎 さん 【2020 春季コース】

8日間仕事を離れ、自分の考えと向き合うことで、かなり考えがまとまりました。

ただの講義だけではなく、ワークショップを通じて自社の本当の課題に向き合え、実はわかっていたけれど目をつぶっていた部分もさらけ出すことができ、明日からの課題解決を実行する勇気が持てました。

さらに8日間、一緒に脳に汗をかきながら考え抜いた受講者が同士と思えるようになった、有意義な時間でした。

## 思考力の強化に驚かされる

株式会社日立製作所

堀 光孝 さん 【2019 春季コース】

思考のような曖昧で属人的なモノに対して、TOCのような考え方のフレームワークがあって、それを使うことで思考力が強化されることには驚いた。また、「書いてあることだけで自分の言いたい事が伝わる」という事にこだわると、その重要性も改めて認識できた。自社でもエクゼクティブになればなるほど時間がないうえ、TOCで学んだことが求められる機会は多く、TOCの考え方を身につけることは、自分にとって大きなメリットがあると思う。

## 本を読むだけではわからない知識や使い方

社会保険労務士法人アンビシャス

菅原 陽介 さん 【2018 秋季コース】

これまで思考プロセスの本を読んだりしていましたが、実際に自分が手を使って行うのは想像以上に苦労しました。そもそも正しい知識や使い方を理解しない限り、実際の現場では使えないと考えていた自分には、非常に勉強になりました。

単語1つ1つの意味や概念を今一度自分の中で整理し、少しずつ自分の現場でもトライしていこうと思います。

より多くの詳しいお声をホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.goal-consulting.com/jonah-voice.html>

# ジョナコース FAXお申し込み用紙

FAX:03-5282-2417

ゴール・システム・コンサルティング株式会社 行

日時	2026年 1月20日(火) 27日(火) 2月3日(金) 10日(火) 17日(火) 24日(火) 3月3日(火) 10日(火) ※計8日間 / 各日9:30~17:00 / 全日WEB開催	
費用	<b>通常価格 715,000円</b> [税込] (ジョナ登録料含む) <b>早期割引 550,000円</b> [税込] <b>12月19日(金) まで</b> のお申し込みで適用 <b>グループ割</b> グループで受講し、1つのテーマを扱う場合、 <b>2人目以降は半額</b>	
振込先	みずほ銀行 銀座中央支店 普通預金 1647615 ゴール・システム・コンサルティング株式会社  ※お申し込み後・・・個人様宛てご請求の場合 ⇒ 請求書到着後 <1週間以内> にお振込み下さい。 ・法人様宛てご請求の場合 ⇒ 請求書到着後 <1ヶ月以内> にお振込み下さい。	
	※お客様のご都合により研修をお申し込み後にキャンセルする場合には、キャンセル料を申し受けます。	
	キャンセルご連絡日	~1か月前まで ~14日前まで ~3日前まで ~当日
	キャンセル料	無料 25% 50% 全額

お支払時期のご希望がごありの場合は、別途ご相談下さい。

<input checked="" type="checkbox"/> 上記開催要項を確認の上、ジョナコースに申し込みをいたします。				お申し込み日	年	月	日
フリガナ							
会社名							
所在地	〒	代表TEL:					
		代表FAX:					
フリガナ	所属・役職		TEL:				
連絡担当者			FAX:				
E mail							
参加者氏名		所属・役職		参加者氏名		所属・役職	
フリガナ				フリガナ			
E mail				E mail			
フリガナ				フリガナ			
E mail				E mail			
合計	名	参加費合計(税込) ¥					-

WEBからのお申し込みは… <http://www.goal-consulting.com> ⇨ セミナー ⇨ ジョナ登録戦略的思考プロセス